

おもてなし



新年のごあいさつ

宮津商工会議所
会頭 今井 一 雄

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さまには、ご家族お揃いで2016年の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年の我が国の景気動向は、新興国・資源国経済の停滞・減速そして欧州の債務問題もある中で、緩やかな回復がみられました。

地方では、地方の再生、強い経済の実現に向けたまち・ひと・しごと創生戦略による賑わい作りが求められており、商工会議所は、その実現に向けて関係団体等と共同し取り組んでいきたいと考えております。

当地方にあっては、悲願であった京都縦貫自動車道の全線開通による交通アクセスの改善、「海の京都」をターゲットイヤーとする「海の京都博」が夏場から秋にかけて開催されたのを契機に、多くのお客さまにお越しいただき賑わいが見られたものの、依然として厳しい経済環境にあったといえます。

そのような中、宮津まちづくり会議において、中心市街地活性化の要衝と位置付けられている浜町エリアを、海の京都の玄関口に相応しい賑わいのあるまちを目指して、課題や今後の方向性等を纏め宮津市へ報告させていただきました。

報告書では課題、方向性として、

- ①地域振興拠点では、特に事業の担い手の確保、商業施設の立地場所や規模、周辺事業者との連携・協力
- ②浜町周辺エリアでは、歩きたくなる・歩きやすい空間づくり、人を呼び込み空き家などを活用してチャレンジができる仕掛けづくり等が上がっております。

これらの取り組みを進めるにあっては、必要な担い手の育成と確保に向けた仕組み作りや魅力ある商品づくり、情報発信の強化等について記述させていただきました。

報告書提出後の当面の取り組みとして、宮津市観光交流センターのオープンや道の駅の登録、海の京都観光圏の認定を受けていることから、

- ①早期に賑わいを創出する必要がある、小規模でも店舗の常設を図るなど、より経営視点を持った取り組み実施
- ②経営マネージャー受入れに向けた準備・検討

などに取り組むまいと考えております。

一方、農水商工観連携会議では、事業コンセプト「天地山海のしあわせ 宮津遺産」の作り込みについて指導を受けている福井先生から、宮津遺産の認定に向けた取り組みの中で、

- ①認定の目的は、地域の資源を活かし、新たな価値を生み出すことであり、
- ②市民が楽しく参加して作り込むことが大切と説かれています。

今後も引き続き取り組んでいきます。

Made in 宮津の商品づくりの具体的な取り組みでは、

- ①事業者の商談の手助け
- ②農水商工観マッチングフェアでの商談成立などがありました。

まだ商品開発には至ってありませんが、今後はプロデューサーの手を借りてスピードアップを図り特産品開発などにも取り組んでいきます。

最後に、中小規模事業者の支援につきましては、中小企業応援隊事業等々で種々のお手伝いをさせていただきました。また地域の消費喚起並びに商工業者の活性化を目的として総額2億4千万円の商品券を発行する宮津市プレミアム商品券事業を実施させていただきました。

今年につきましては、小規模支援法の改正を踏まえ経営発達支援事業に軸足を移した支援が求められていることから、当所においても、経営発達支援計画を作成し経済産業大臣の認定を受けるよう手続きを進めております。支援レベルのさらなる向上を目指して取り組み、お手伝いさせていただきたいと考えております。

さらに、会議所の使命達成を目指した運営基盤強化と会議所業務の取り組みにあたっての考え方の整理、そして会員向けには、創業・事業承継等の層別による人材育成・ビジネススクール、そして広報の充実を図っていききたいと考えております。

まだまだ取り組み、また挑戦しなければならないテーマがありますが、会議所の役職員一同、会員の皆さまの声を真摯に受け止め、現場に立脚した活動を基本に、何を優先とすべきかを考え、行政の協力を得て取り組んでまいりますのでどうか関係各位のご指導、ご協力をお願いいたします。

以上、新年にあたり所感の一端を申し述べさせていただきました。本年が会員の皆さまに取りまして、実りの多い一年となりますよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

副会頭の新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。本年も何卒よろしく願い申し上げます。



副会頭 余田 光基【株ヨデン】

新年明けましておめでとうございます。本年度は、宮津商工会議所創立60周年の年であり、1月18日に記念事業が開催できることは、本当に喜ばしいことでもあります。このことは、代々すべての先陣先輩のご至誠ある努力の賜物であります。

今後100年に向かって、ますます会員各位のご指導ご鞭撻をいただきつつ、私も宮津商工会議所役員一同、万全の努力をする覚悟であります。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

本年が会員事業所の皆さまにとって実り多い一年となりますよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



副会頭 武田 恭和【有興楽】

新年明けましておめでとうございます。平成28年が、会員企業様にとって実り多い年になりますよう心よりご祈念申し上げます。

私は、かねがね企業経営者の奮闘こそが、地域を支える中心であると確信しております。企業経営は、人の活動そのものです。よって、企業価値を真に高めるには、社長を始め企業で働くすべての人の成長が不可欠です。特に、経営感覚を持った人材育成が急務と考えます。あらゆる機会を肯定的にとらえて学び、実践することこそ成功の「基」ではないでしょうか。

改めて、会員企業の皆さまとのコミュニケーション、情報交換、相互作用を大切に、また学び合える場を質、量ともに求めていきましょう。

宮津商工会議所創立60周年記念事業 2016新春経済講演会

本年の新春経済講演会は、当所創立60周年記念事業として、東京国立博物館館長の銭谷眞美氏をお迎えし、当地で現在取り組んでいる「北前船」をテーマに講演していただきます。

「北前船」は、江戸・明治時代に大阪から日本海各地を寄港しつつ、商品売り買いしながら北海道まで航行した輸送船で、寄港地の経済や文化を大きく発展させました。現在、その日本海ネットワークが新たに見直されており、寄港地の連携に大きな期待が寄せられています。

日時 平成28年1月18日（月）午後2時～3時30分

場所 天橋立ホテル **参加料** 無 料

講師 銭谷 眞美 氏
東京国立博物館 館長・元文部科学事務次官

テーマ “北前船がもたらした経済と文化の交流”
—北前船スピリットを通じて—



<講師プロフィール>

昭和24年秋田市生まれ。東北大学教育学部卒業後、文部省に入省。平成19年7月～平成21年7月には、文部科学事務次官を務められるなど、長年「教育と文化」に尽力され、現在は、東京国立博物館館長を務める。

【お申込み・お問い合わせ】 電話、FAX、Eメールにて宮津商工会議所へお申込みください。

TEL 0772-22-5131 FAX 0772-25-1690 E-mail miyazu@kyo.or.jp

※ 駐車場には限りがありますので、乗り合わせ、または公共交通機関をご利用ください。

主催／宮津商工会議所、(公社)宮津納税協会、(公社)宮津納税協会宮津市支部法人部会
共催／京都北都信用金庫、近畿地区しんきん経営者協議会、近畿税理士会宮津支部

【同日開催】宮津商工会議所創立60周年記念式典及び祝宴

【日 時】平成28年1月18日（月） 於：天橋立ホテル

●式典 午後4時～5時 ●祝宴 午後5時30分～7時30分（祝宴会費：1万円）

宮津商工会議所青年部新入会員募集中！！

あなたも宮津商工会議所青年部の一員となり、企業経営の勉強や会員との親睦を通して、情報交換や自己研鑽をはかり、事業所の発展、また自己のスキルアップに役立ててみませんか？ そして一緒に宮津を盛り上げましょう！！

お問い合わせ：0772-22-5131（事務局：矢野）



宮津商工会議所青年部

創立60周年記念事業 講演会・ディスカッションのご案内

宮津商工会議所青年部では、創立60周年記念事業として、WILLER TRAINS㈱の小高直弘氏をお招きし、これからの地域経済についての講演会及びディスカッションを開催します。

青年部会員以外の方々にも、ご参加いただけますので、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

日時 平成28年2月6日(土) 午後3時～4時50分

入場無料

会場 宮津会館大ホール ※駐車場：市宮浜町立体駐車場（5時間無料）

講師 小高 直弘 氏 (WILLER TRAINS㈱常務取締役・
WILLERツーリズム&コンサルティング㈱代表取締役 他)

◇主催・お問い合わせ◇
宮津商工会議所青年部
☎0772-22-5131

テーマ 「われらが創造る宮津の未来」

事業者の皆さま

マイナンバー制度が始まりました!!

～準備は、お済みですか?～

平成28年1月から社会保障・税・災害対策の行政手続でのマイナンバーの利用が開始されました。事業者は、従業員などの社会保険の手続や源泉徴収票の作成の際に、マイナンバーの記載が必要となります。また、個人情報を守るため、マイナンバーは、法律で定められた範囲以外での利用が禁止されており、その管理に当たっては、安全管理が義務付けられています。

再度、下記6つのチェックリストを確認して、適正利用に務めていきましょう!!

導入チェックリスト ※マイナンバーは、従業員を雇用しているすべての事業者に必要なとなります。

- ☑1 マイナンバーを扱う担当者を決めましょう。
- ☑2 マイナンバーを従業員から取得する際は、利用目的を伝え、番号の確認と身元の確認をしましょう。
- ☑3 マイナンバーが記載された書類は、カギがかかる棚や引き出しに保管しましょう。
- ☑4 パソコン等のウィルス対策ソフトを最新版にするなど、セキュリティ対策を行いましょう。
- ☑5 退職や契約満了で従業員のマイナンバーが必要なくなったら、確実に破棄しましょう。
- ☑6 従業員にマイナンバー制度周知のため、研修や勉強会を行いましょう。

詳しくは、宮津商工会議所(☎0772-22-5131)または、全国共通ナビダイヤル(☎0570-20-0178)にお問い合わせください。

宮津市プレミアム商品券』発行事業のご報告

宮津商工会議所では、地域内の消費需要を喚起し、個人消費の拡大と地元企業の売上向上による地域経済全体の活性化を願い、宮津市の支援を受けて宮津市プレミアム商品券を平成27年6月9日より販売しました。



事業の内容としては、市内の取扱店222店舗で使用できる20%のプレミアム付き商品券を2億円規模で発行しました。また、消費者の更なる購買意欲を高めるために、家電商品等が当たる『お楽しみ抽選会』を開催し、当日の抽選会場には、約500名の方々が来場されました。なお、本抽選会については、本町商店街振興組合様からも景品の提供をいただきました。

取扱店の皆さまにおかれましては、売出しセールや、店舗チラシによる広報活動等ご協力いただき誠にありがとうございました。



【事業概要】

- | | |
|--------------|--|
| 1) 商品券 | 20%のプレミアム付き商品券【1セット12枚入り(12,000円)を10,000円で販売】 |
| 2) 販売セット数 | 20,000セット・販売額2億円(プレミアム込みの総額は2億4,000万円分) |
| 5) 利用期間 | 平成27年6月9日～平成27年9月30日まで |
| 6) 取扱店舗数 | 222店舗 |
| 7) 利用金額 | 2億3,970万円(99.87%) |
| 8) 主な利用業種(※) | 小売業(食料品全般) : 57.13% 小売業(家電・修理) : 7.43%
自動車整備・販売業 : 4.18% 宿泊・観光関連業 : 2.83%
小売業(衣料品) : 2.39% 飲食業 : 2.16% |



(※) 業種は取扱店申込書の業種を参考とし、1事業所で業種の違う店舗をお持ちの場合は、主要業種でカウントしております。

宮津商工会議所女性会活動報告

京都府商工会議所女性会連合会平成27年度全体事業が舞鶴で開催！

去る11月27日、舞鶴市において京都府商工会議所女性会連合会平成27年度全体事業が開催されました。

この全体事業は、京都府下の女性会会員一同が自己研鑽と会員交流を図ることを目的に、例年、京都市内で開催されているものですが、今年度初めて京都府北部地域で開催されました。

女性自衛官の草分けとして、男社会の自衛隊に入られ、退官後は大阪にある狭山高校で校長として活躍されている竹本三保氏による「女の男気、男の女子力 -私のチャレンジ人生-」をテーマとした講演をお聴きしました。

その後、海軍ゆかりの港めぐりとめったに入ることのできない「東郷邸」の見学をさせていただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。

女性会では随時会員を募集しておりますので、加入を希望される方は商工会議所(☎22-5131)へご連絡ください。



当所会員事業所優良従業員表彰・会員表彰式を開催

14事業所27名の優良従業員の皆さま、4会員事業所の皆さまが受表彰されました

去る12月4日、平成27年度当所優良従業員表彰・会員表彰式がご来賓をはじめ多数の方々の参列のもと開催されました。

今井会頭からは、優良従業員表彰を受表彰された方々、また会員表彰受表彰事業所の方々に、それぞれ長年の企業、地域に対する功績に対し、敬意、感謝の辞が伝えられました。

続いて、優良従業員表彰受表彰者である14事業所27名の方々、会員表彰受表彰者である4事業所の方々のお名前を1人1人読み上げ、今井会頭から表彰状の授与が行われました。

表彰に対し、従業員表彰受表彰者代表の中江喜代則 様【京都府漁業協同組合】は、同僚をはじめ多くの方々に支えていただいたおかげである。また、企業人として地域社会に貢献できるよう、より一層精進していきたいとの感謝の気持ちと決意を述べられました。続いて、会員表彰受表彰事業所代表の小松常一 様【コマツ ヘアサロン】からは、地域への感謝の意と戦前の厳しい時代を乗り越え、三代続けてきた理容店を守ってきたいという決意を述べられました。なお、本年度、会員表彰を受表彰されました事業所の皆さまは次の方です。



事業所名	創業年数	事業所名	創業年数
小倉 酒 店	創業125周年	コマツ ヘアサロン	開設75周年
(株) 黒 岡	創業75周年	清水自動車工作所	創業50周年

※創業年数毎、敬称略

本年度受表彰された皆さま誠におめでとうございます。来年度も開催予定ですので、対象の方々は是非申請をお願いいたします。

宮津のインバウンド最前線！！

現在、政府は、2020年までに年間2000万人以上の訪日外国人旅行者数達成を目標に掲げており、実際の旅行者数も増加している状況です。

宮津でも丹後観光情報センターの外国人旅行者の案内件数は約156%と伸びており(2015年8月～11月の対前年比)、最も多い地域が、台湾からの訪日で、香港、中国とアジア圏が全体の50%以上を占めています。そんな宮津のインバウンドの現状について、外国人旅行者の宿泊客が増えている「清輝楼」と「茶六本館」でお話を伺いました。

清輝楼の徳田誠一郎さんによると、清輝楼の外国人旅行者の約6割は、ヨーロッパからの個人旅行者で、日本三景天橋立や有形文化財の宿といった地域の文化・歴史・景観に関心を持った方が多いそうです。ショッピングやテーマパークをメインの目的とした東南アジア圏の旅行者に比べ、ゆったりと滞在を楽しまれ、宿泊日数も長いのが傾向とのことでした。

また、茶六本館の茶谷哲さんにお伺いすると、茶六本館の場合は、アジア圏の方が多く、昨年からはじめて中東から来られ宿泊されるなど旅行者の地域も広がっているとのことでした。その一方、十数人で予約を受けたが、当日来られなかったといったトラブルもあり、接客や旅のルールなどにおいても文化の違いを感じるそうです。

お二人ともに、限られたスタッフで世界中の多種多様なニーズに対応するのは、時間を取られてしまうとのことでしたが、外国語が話せなくても「おもてなし」の心で接客することで、満足いただけるサービスが提供できるという、徳田さんの言葉が印象的でした。

当地のインバウンドの受け入れ体制は、まだまだ不十分な点も多いのが現状です。今後ますます外国人旅行者が増え、いく中で、地域としてどう対応していくか、全域的な取組が必要ではないでしょうか。



文人墨客の宿 清輝楼



茶六本館